

# しゅれっだあ

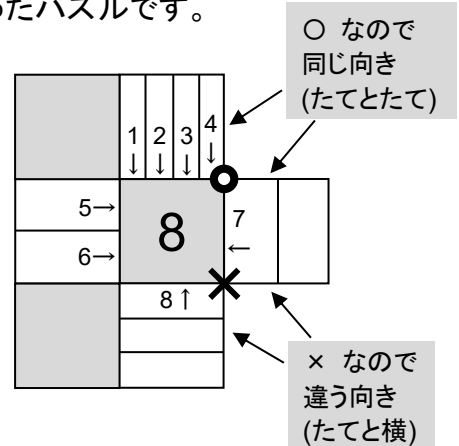
(「パズラー」1999年12月号掲載作品「TANZAKU」の改作)  
白マスにシュレッターにかける、ちょっと変わったパズルです。

## 【ルール】

- ・ 白マスに、2~4本の短冊状に切ってください。  
切る向きは、たてか横です。
- ・ 数字マスの数字は、そのマスに接する短冊の数を表します。
- ・ 「○」印は、その2マスで切る向きが同じであることを、  
「×」印は向きが異なることを表します。

## 【ポイント】

先に考えるのは、短冊の「数」よりも「向き」。  
「切れている面」と「切れていない面」に注目！



## 【例題】

	7		4	
6	○	10		8
	4		7	×
7		9	○	5
	×	5	9	

## 【途中図①】

	7		4	
6	○	10		8
	4		7	×
7		9	○	5
	×	5	9	

真ん中の「4」に注目します。周りに4マスあるので、4マスとも「切れていない面」が接することが分かります。切る向きだけは決まるので、点線でも書き込んでおきましょう。

## 【途中図②】

	7		4	
6	○	10		8
	4		7	×
7		9	○	5
	×	5	9	

右上の「8」の部分だけ抜き出してみました。×印より、左のマスと下のマスでは、切る向きが異なります。図のように向きを仮定すると…最大でも「6」になってしまうので、「8」には足りません。矛盾します。

## 【途中図③】

	7		4	
6	○	10		8
	4		7	×
7		9	○	5
	×	5	9	

○印や×印を考慮して、切る向きがここまで決まりました。  
これで真ん中の「7」は、下のマスを「たて4本」に切ることが決まります。同様に左下の「5」は、右のマスを「横3本」に切ることが分かります。

## 【途中図④】

	7		4	
6	○	10		8
	4		7	×
7		9	○	5
	×	5	9	

芋づる式にここまで決まります。真ん中の「9」のうち、上のマスと左のマスで合計7。3本と4本の組み合わせです。しかし、左のマスを4本にすると…その左の「7」と矛盾します。

## 【完成図】

	7		4	
6	○	10		8
	4		7	×
7		9	○	5
	×	5	9	

あとはズルズルと決まっていって…これで完成です。  
見た目以上に硬派な論理パズルです。“ありそうで、なかった”感じの解き味をお楽しみください。

《サンプル問題》

【1】

5		5		3	
	○	6		6	10
7		10		8	*
	7	○		5	*
5	*		7		10
	4	○		5	○

【2】

4		6		7	
*	8		9		5
4		6	○	8	
	8		5		6
5	*		*	10	○
	6		5		5

【3】

	8		6		8	
5	*		6	*	9	3
	7		6		10	
7		○	9		11	*
	6		7		5	
5		○	7		6	5
	7		11		9	

【4】  
難問！

	8		5		7	
4		8		7		7
	6		7		9	
5		7		8	*	6
	7		6	*	7	
6		6		8		5
	6	*	8		8	○

《サンプル問題 解答》

【1】

5			5			3		
		6		6			10	
7			10			8		
	7			5				6
5			7			10		
		4		5				4

【2】

4		6		7	
	8		9		5
4		6		8	
	8		5		6
5		7		10	
	6		5		5

【3】

	8		6		8	
5		6		9		3
	7		6		10	
7		9		11		7
	6		7		5	
5		7		6		5
	7		11		9	

【4】

	8		5		7	
4		8		7		7
	6		7		9	
5		7		8		6
	7		6		7	
6		6		8		5
	6		8		8	